

草の根協力支援型

平成15年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1.国名	南アフリカ共和国
2.事業名	クワズールナタール州ンドウェドウェ地域の学校におけるHIV/AIDSピア教育プロジェクト
3.事業の背景と必要性	クワズールナタール州（以下KZN）は、南ア全体のHIV感染者の36.3%にあたる1,813,217人の感染者を抱え、深刻なHIV/AIDSの蔓延にあえいでいる。 行政や教会、NGOもこの問題に取り組んでいるが、セクシュアリティをタブー視する傾向の強いズールー社会では、その効果が十分発揮されていない。 HIV/AIDSについては、学校という公共の場で、授業の一環として、子供達から他の子ども達に正しい知識を広め、行動・態度について子ども達自身が考えるピア教育の手法が有効である。 TAAAは長年の協力関係にある教育支援NGO「English Language Educational Trust」からの支援要請を受けている。
4.事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 対象校にHIV/AIDSに関するピア教育体制を確立する。 対象校の生徒達がピア教育を通じてHIV/AIDSの知識を向上し、感染の予防・拡大を防ぐ意志決定・行動ができるようになる。
5.対象地域	クワズールナタール州ンドウェドウェ地域
6.受益者層	一次対象者：対象校15校のピア教師役を担う生徒45名（各校3名）と教師45名（各校3名）と教師45名（各校3名） 二次対象者：対象校の5～9年生の生徒7500名
7.活動及び期待される成果	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校におけるHIV/AIDSのピア教育体制の確立 生徒のHIV/AIDSに関する知識の向上と感染予防行動の拡大 <p><指標></p> <ul style="list-style-type: none"> 研修に参加した生徒のうち70%が、学校や地域でHIV/AIDS教育活動・予防指導を実施する。 対象校の60%で、ピア教師によるHIV/AIDS教育活動が学校カリキュラムの「Life Skill Programme」の中に組み込まれる。 対象校の50%で、ピア教師を中心とした生徒主導の健康に関するユースクラブが設立される。なお、教師研修に参加した教員が、当クラブでサポートを行う。 上記クラブ活動の一環として、教師とピア教育が連携し、次代のピア教師を育成する。 生徒のHIV/AIDSに関する知識が10%向上する。 <p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 教材開発 学校巡回指導員の研修（3回程度） 校長研修（初年度1回） 教師研修（年1回・2年） ピア教師研修（年2回・2年） 学校巡回指導（年3回・2年）
8.実施期間	2003年11月～2006年3月（2年5ヶ月）
9.事業費	第一年度契約金額：2,153千円（精算金額：2,153千円） 第二年度契約金額：4,408千円（精算金額：4,408千円） 第三年度契約金額：3,589千円
10.事業の実施体制	TAAA：現地事業総括、事業進捗・経費支出状況の監督、事業評価、国内広報活動 ELET：教材開発、研修、学校巡回指導、経理
II. 実施団体の概要	
1.団体名	アジア・アフリカと共に歩む会（TAAA）
2.活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 英語本の収集・送付 移動図書車の整備・輸出・黒人居住区での運行支援 現地での図書活動の資金援助 講演会、報告会などの開催と会報の発行を通じた情報発信
3.対象国との関係、協力実績	1992年の会発足以来229087冊の英語本と13台の移動図書館車を現地教育省と教育支援NGOに送り、黒人居住区での教育支援活動を実施。13台の移動図書館車のうち5台はハウテン州教育省、2台が西ケープ州NGOにより運行されている。